

第3回令和3年8月9日からの大雨に係る青森県災害対策本部会議 議事録

日時：令和3年8月12日（木）16：30～16：57

場所：第三応接室

○坂本危機管理局次長

ただいまから、第3回令和3年8月9日からの大雨に係る青森県災害対策本部会議を開催いたします。本日の手話通訳者は、古田美絵さんと、障害福祉課 山上美紀さんのお二方です。

本日、青森地方気象台から気象情報について御説明いただくことになっておりますので、お願いいたします。

○青森地方気象台 吉田次長

青森地方気象台次長の吉田です。今後の大雨の見通しについて説明いたします。

前線による今後の大雨の見通しにつきまして、本日15時から説明会を気象台で開催しましたので、その資料に基づき説明させていただきます。

青森県では、前線や湿った空気の影響で、明日13日にかけて大雨となる見込みです。台風から変わった低気圧による大雨で、少しの雨でも災害が発生する可能性があります。このため、土砂災害に警戒し、河川の増水や低い土地の浸水に注意をお願いします。防災気象情報を活用し、早めの防災対応をお願いいたします。

青森県では、前線や湿った空気の影響により、本日12日夜から雨が次第に強まってきて、明日13日にかけて下北と三八上北を中心に大雨となる見込みです。その後も前線が本州に停滞しまして、15日にかけて雨の降りやすい状態が続く見込みです。下北と三八上北を中心に、明日13日は警報級の大雨となる見込みです。特に10日までの大雨で被害の発生している風間浦村、むつ市、七戸町では、少しの雨で災害が発生する可能性もありますので、御留意をお願いいたします。

2ページ目です。気象の実況です。左側が本日9時の地上天気図、右側が気象衛星ひまわりの画像になります。左の天気図を見ますと、台風から変わった低気圧は日本の東に遠ざかりまして、変わって、前線が西日本から東日本の方に伸びてきております。この前線に伴う活発な雲行きが西日本中心にかかってきておりまして、東北地方の方にも北側の部分がかかってきている、といった様子が見られます。

3ページ目です。今後、本日12日21時と明日13日21時の天気図を表示しております。左側と右側を見比べて分かりますように、前線が本州に停滞する状態が続きます。そして、オホーツク海の高気圧が北日本の方に張り出しまして、東寄りの風が吹きやすい状態が続くといったような状況になっております。

4ページ目です。今後、青森県で警報級、注意報級の現象が予想される期間を示しております。数値が入っておりますのは、1時間の雨量の最大値を3時間ごとの時間帯で示しております。本日12日夜にかけて徐々に数値が上がっていきます。そして13日の未明からは10ミリ以上、場所によっては1時間に15ミリと雨がやや強まってくるのが分かります。

この期間の雨のピークとしましては、明日の朝から、概ね夕方から夜のはじめ頃までといった形で見ておりまして、1時間の最大雨量は20ミリの強い雨を見込んでおります。今日の18時から明日の18時までの24時間ですが、下北で80ミリ、三八上北で100ミリと予想しております。その後、明日の18時以降、24時間先までの雨量も、県内の多いところでは50から100ミリを予想しておりますので、大雨に警戒が必要となっております。

警報級の可能性が考えられる時間帯ですが、この表の一番下のところですが、下北と三八上北、今夜のうちは警報級の可能性としては中、その後、雨の強まりによりまして、大雨警報が発表になる可能性が明日の未明以降考えられる、といった形で示しております。

最後の5ページ目につきましては、説明会で大雨による災害の留意事項といった形で注意していただきたいことを説明いたしました。气象台からの説明は以上にさせていただきます。

○坂本危機管理局次長

ただいまの气象台の説明につきまして質問等ございますか。よろしいですね。ありがとうございました。

それでは、本日14時現在における災害対策本部の対応状況等につきまして、統括調整部より説明申し上げます。

○橋本統括調整部長

それでは、大雨に係る被害等の状況（第7報）という12日14時時点の資料を御覧いただきたいと思います。

この資料を説明する前に、本日「しらかみ」が、昨日撮影ができなかった下風呂周辺の映像を撮影してまいりましたので、先にその映像を皆さんで共有したいと思います。ではお願いします。

○築田防災危機管理課長

まず初めに、下風呂近辺の映像になります。

○橋本統括調整部長

海が泥で濁っている状態です。ちょうど泥が排出されていたと思います。

上流部は、あのように入が見えたりしています。崩れている部分もあると思います。

○三村本部長

上流部の土砂は砂防ダムで止まっているようだ。よく作っておいてくれた。砂防ダムが役に立った。

○築田防災危機管理課長

次に、小赤川近辺の状況になります。風間浦村方面からむつ市に向かって飛んでいます。

○橋本統括調整部長

今ちょうど真ん中に見えてきたのが延寿園になります。流木が大量に蓄積している部分にちょうど人道橋が見えると思います。その下で、道路橋が落ちております。流木があるために、川の水がそこを避けて住宅の中の方から海側の方に流れているような映像が分かると思います。水がダムのように留まって外側を迂回している状態です。

○築田防災危機管理課長

次に、小赤川の上流部になります。

○三村本部長

沢ごとに全て崩壊しているようだ。

○築田防災危機管理課長

こういったところが多数あります。

○三村本部長

砂防ダムが複数あって良かった。ただ、今回は崩壊箇所が多すぎた。

○築田防災危機管理課長

こういった形になっております。以上です。

○橋本統括調整部長

今のが、現在の下風呂地区と小赤川の上流等の映像でした。

それでは、資料の方で御説明いたします。

まず、人的被害については、現時点で把握している限りではなしという状況でございます。

建物被害は現在も調査中ですが、そこに記載されている状況が現時点で把握されております。

孤立集落の状況ですが、現時点では風間浦村下風呂地区の621名となっております。むつ市大畑地区の赤川エリアですが、ここは人道橋を介して、現在、物資等が往来していることから、孤立集落というところからは今回は外れております。

ライフラインの状況について、延べ停電戸数等がそこに記載されています。また水道について、七戸町の断水が2,433戸になっているということです。

道路の状況等について、次のページで、河川の状況で一部新たな部分が2箇所ほど記載されております。

交通の状況ですが、航路については現在の天候の状況によって欠航しているというものです。

農林水産部関係については、現在も被害額調査中ですが、順次状況が出てきておりまして、現時点で出てきているものがそれぞれ農作物関係、畜産関係、農地等が記載されているところ です。

災害廃棄物への対応状況について、むつ市、風間浦村、七戸町それぞれの現在の状況を記載しています。

次が県の状況ですが、県の方から危機管理対策監と下北地域県民局の職員が風間浦村役場で情報収集を行っているほか、県の保健師等が風間浦村役場で情報収集を行っているということです。

七戸町及び東北町の断水区域において、排水ポンプによる排水を実施しています。それからボランティアセンターについての現在の状況が記載されております。

次のページが避難所の状況ですが、これはあくまでも14時時点の状況で、避難情報として風間浦村のところが現避難者数27人となっておりますが、これは14時という時間帯の話ですので、また、今後の雨の状況を考慮したりといったことで、時間単位で動きがあります。あくまでも14時時点ということで記載されているものと御理解ください。

その次のページに関係機関の活動状況の主なものをまとめています。これは13時現在ということになっております。

陸上自衛隊からは、12日に下風呂地区での物資輸送、大畑赤川地区での輸送支援、七戸町での給水支援等が行われております。

また、KDDIでは、大畑町の一部に車載基地局等を投入して通信容量の補完を行う等の活動を行っております。

また、東北電力ネットワーク株式会社で、11日と12日それぞれ停電復旧や救援物資運搬等に当たっております。

NTT東日本では、風間浦ビルのバッテリー枯渇対応で、11日19時22分、商用電源復旧で通信孤立を回避したとのこと。また、移動電源車も待機させているということです。

それから、青森海上保安部で、県が確保した飲料水を青森港から下風呂の方に輸送する等の対応をしているということでございます。この資料については以上です。

○坂本危機管理局次長

引き続き道路の状況について、県土整備部よりお願いいたします。

○宮本県土整備部理事

はい、県土整備部から御報告をさせていただきます。道路の啓開について、今、現地の建設会社等の方で1日も早く啓開をするということで全力を挙げているところであり、2点御報告をさせていただきます。

国道279号で、先ほどの映像であった小赤川橋について、こちらの方は橋が落橋しているということで、今、国土交通省の方で組立式の応急仮橋を急ぎで架けられないかということで、本日から東北地方整備局の本局、それから東北技術事務所の方で現地に入っただいて、指導いただきながら、県の方でやるべきことをやりつつ、橋の部品を国土交通省が現地に持ってくるような調整を進めているというところでございます。

それから2点目でございますけれども、多数の崖崩れが発生しており、それを除去しながら道路啓開を進めているところでございます。今現在、下風呂から大間の間で、下風呂から大間側のところ約2.2キロメートルがまだ啓開をできていないという状況でございます。こちらの方は、啓開作業に非常に苦勞をしており、といいますのは、非常に規模の大きな崖崩れが発生しており、現地で作業するのがちょっと危険な所がございますので、そこは慎重に対応するというところでございます。こちらの方も、国土交通省のTEC-FORCE土砂災害の専門家の方に、現地の状況確認をしながら作業を進めるということで、本日、TEC-FORCE土木研究所の専門家の方が入って、概要説明を県の方から実施し、明日、現地調査に入っただき、その状況を見て現地の啓開作業を進めていくということになります。県土整備部からは以上でございます。

○坂本危機管理局次長

続きまして、災害廃棄物ないしはボランティア関係につきまして、環境生活部長よりお願いいたします。

○佐々木環境生活部長

環境生活部の資料を御覧ください。まず、災害廃棄物の関係でございますが、むつ市に関しましては、大畑の一般廃棄物最終処分場に仮置場を設置いたしまして、災害に伴う粗大ごみは、本日12日から回収を開始しております。各家庭の前に置いていただき、回収して、仮置場で分別し、焼却施設のアックスグリーン又は最終処分場で埋め立てということを検討しているということです。粗大ごみ以外のものは、昨日から既に回収を開始しているというところでございます。

風間浦村につきましては、現在も土砂の撤去を優先しておりまして、廃棄物の撤去の方は目途が立っていない状況でございます。

それから七戸町は、通常のごみ収集のルートで実施しているということで、仮置場の設置等は必要ない状況でございます。

それから、市町村における防災ボランティアセンターの方でございますが、現在、青森県社会福祉協議会と連携いたしまして、被災市町村の防災ボランティアセンターの設置状況の方を確認中でございます。むつ市につきましては、設置検討中です。七戸町につきましては、直近の情報では設置しない方向ということでございます。風間浦村につきましては、未定ということでございました。

今後の対応でございます。災害廃棄物につきましては、市町村の状況を確認しながら必要に応じて支援してまいります。また、防災ボランティアセンターの方は、市町村の設置状況、また、ニーズを踏まえながら青森県社会福祉協議会と連携し、県の防災ボランティア情報センターの設置要否について協議していきたいと考えています。以上です。

○坂本危機管理局次長

続いて水道の状況等について、健康福祉部長お願いいたします。

○奈須下健康福祉部長

はい、それでは先日の本部会議以降に判明した状況、特に水道施設の被害状況について報告いたします。

むつ市につきましては、大畑町赤川村地内です。これは小赤川橋の落橋により、敷設していた水道管が破損して送水できなくなったものでございます。小赤川橋より風間浦村側へは、現在、消防、自衛隊からの物資の支援を行っているところです。今のところ断水している世帯は、20世帯となっております。

風間浦村下風呂甲地区は、324世帯です。この地区については、簡易水道施設がありますが、下風呂地区の浄水場が土砂で埋まっております。また、送水するための機械、消毒設備、濾過設備等も土砂で埋まっており、停電も起きています。土砂崩れのため、現地まで行けない状況にあります。現在は、避難所に備蓄している飲料水と自衛隊から徒歩で物資を運搬していただいて対応しております。

次に、七戸町の天間林地区でございます。ここは断水の対象世帯数が2,216世帯となっておりますが、14時現在で2,433世帯となっております。これは、天間林浄水場の取水口に土砂等がたまり、取水が不可能となったものです。現在、この取水口付近の水源に仮設のポンプ、発電機を設置し、浄水場へ送水を行っております。配水池へ水を溜めている状況にあります。この地区については、自衛隊の給水車、直営の給水車、十和田市、三沢市、中部上北消防から給水車タンクローリー等を配置していただき対応しております。

次に、保健師の派遣の状況ですが、本日、風間浦村内の避難所に県等の保健師が入っており、健康調査の支援を風間浦村保健師と共に行っております。明日8月13日には、青森県災害福祉支援チーム（DCAT）の先遣隊3人を風間浦村に派遣し、情報収集をすることとしております。健康福祉部からは以上です。

○坂本危機管理局次長

この他、各部局で報告事項があれば、はい、では企画政策部。

○船木企画調整課長

JRの情報につきまして、更新がありましたので御報告いたします。資料では明日まで復旧に時間が掛かるということでしたが、復旧作業が進んだということで、本日の20時頃には復旧の見込みとなりましたので御報告いたします。

○坂本危機管理局次長

ほかにごありますか。よろしいでしょうか。

では、ここで陸上自衛隊第9師団より御報告があるとのことですので、よろしく願いいたします。

○佐藤陸上自衛隊第9師団司令部第3部長

第9師団です。本日につきましては先ほどの資料にありまして、風間浦村における物資輸送と、大畑赤川地区においての人移送支援というのを実施しました。また七戸町における給水支援を実施しており、明日についても同様の規模で実施予定であります。

また本日、航空偵察を我々も実施しました。国道279号沿いの動画を撮りましたので、じ後、担当を通じまして、動画について提供させていただきますので、共有させていただければと思います。

2点目です。小赤川橋の通過ですけれども、本日支援させていただきましたが、細部の調整の要領を関係部署等と調整させていただければと思います。

最後です。同様に小赤川橋の排水と流木の除去について調整いただいておりますけれども、我々も参加の方向で対応させていただきたいと考えておりますので、次は実施要領と細部の調整をさせていただければと思います。以上です。

○坂本危機管理局次長

ありがとうございました。それでは本部長から指示をお願いいたします。

○三村本部長

9日から大雨に伴う災害への対応については、孤立地域の解消や道路啓開など、関係機関の御協力を頂きながら、復旧に向けた作業が進められているところです。

また、本日午前、風間浦村下風呂地区で孤立していた県外の旅行客ら57名について、むつ市、風間浦村、下北消防及び陸上自衛隊第9師団の皆様方の協力体制の下、無事にむつ市側へ移送が完了したとのこととあります。

さらに、孤立していた赤川地区の住民30名の移送も完了したほか、停電の解消や通信網の復旧も徐々に進んでいるところであり、市町村間の物資支援等も行われていると伺っております。

改めて、関係各機関の皆様方の御尽力につきまして感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

一方、先ほど气象台から御説明がありましたが、今後、具体には今夜から明日未明にかけてというところではありますが、再び雨が降る予報となっております。土砂災害の危険性を伴う大雨警報が発表される可能性があります。これまでの雨で地盤が緩み、少しの雨でも更なる被害の拡大や新たな災害が発生する可能性があることから、各部においては、今後の気象情報に留意しながら、被災地域・孤立地域におられる方々の安全を確保するとともに、早期避難の徹底を呼び掛けるようにしてください。また、復旧作業等における二次被害に対する万全の対策を講じてください。

国道279号の被害状況の把握が進むにつれて、大規模な土砂崩れ箇所への対応など、道路啓開における課題が明らかとなってきました。引き続き関係機関との緊密な連携の下、できるだけ早期の道路啓開に全力で取り組んでください。

併せて、市町村が抱える課題等に対する積極的な支援の検討を速やかに開始してください。

各部及び各県民局にあっては、この難局を乗り切るため、引き続き国、市町村及び関係機関とも連携しながら、一丸となって対応に当たるよう指示します。

被災地域にお住まいの皆様方、孤立地域や避難所等で避難を余儀なくされている皆様方におかれましては、不安な日々をお過ごしのことと思います。避難生活は3日目に入り、お疲れのことと存じますが、今後の雨の状況によっては、再び災害が発生する可能性があります。厳しい状況の中ではありますが、二次被害を防ぐという観点から、御自身の身の安全を確保する行動を心掛けてください。

県としても、関係機関と連携しながら応急復旧等に全力を挙げて取り組んで参りますので、引き続き、皆様方の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

○坂本危機管理局次長

以上をもちまして本日の会議を終了といたします。ありがとうございました。

なお、明日以降の開催予定等につきましては、追って逐次御案内申し上げますので、よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。